

総合型地域スポーツクラブの設立効果と課題

～コミュニティネット SSC 大泉を対象として～

生涯スポーツゼミナール 1315030 清水 せいら

1. 研究動機・研究目的

2020 東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの一つが、「大会を機にスポーツが日常生活にとけ込み、誰もが生き生きと豊かに暮らせる東京を実現」することにある。総合型地域スポーツクラブは、今回のレガシーの手助けとなることが予想できる。しかし、総合型地域スポーツクラブの数は年々増加しているにもかかわらず、認知度はいまだにかなり低い。これまで、総合型地域スポーツクラブの設立効果や必要性の研究は散見されるがその殆どがクラブ側を対象としており、会員側を対象とした設立効果の論文は少ない。

そこで本研究では、総合型地域スポーツクラブの会員を対象に、参加者の帰属意識や活動でも評価を分析し、また、会員になる前と後との日常生活の変化を調査し、総合型地域スポーツクラブの設立効果を明らかにすることで、総合型地域スポーツクラブの認知度を高めるとともに、新たな参加希望者の参入への一助けになる手立てを検討した。

2. 研究方法

質問紙調査票は、うつくしま広域スポーツセンターの「スポーツと地域づくりに関する意識調査」のアンケート用紙を参考に作成した、自由記述を含め 24 項目の質問項目から構成されている。そして、24 項目は「1. 基本的属性」、「2. 総合型地域スポーツクラブに入会する前後での変化」、「3. 子どもが会員の方に対して、子どもが総合型地域スポーツクラブに入会する前後での変化」、「4. 総合型地域スポーツクラブに対する満足度」、「5. 今後のクラブの問題解決に対して必要なこと」、「6. 自由記述」の 6 領域から構成されている。サンプルの属性を明らかにするため、調査項目すべてを単純集計し、更にいくつかの項目との間でクロス集計を行った。

3. 東京都練馬区の総合型地域スポーツクラブ

東京都練馬区では 2001 年、総合型地域スポーツクラブ (SSC) の設立に向け、練馬区体育指導委員が中心となり、「SSC 育成推進委員会」を設立した。その後、地域でのスポーツ活動を活動的に行うとともに、クラブ設立への取り組みを進め、2003 年、6 つの区立体育館を拠点とする「総合型地域スポーツクラブ (SSC)」へ生まれ変わり、「コミュニティネット SSC 大泉」「光が丘総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ」「総合型地域スポーツクラブ 平和台」「スポーツコミュニティ桜」「SSC 谷原アルファ」「スポーツクラブホワイエ上石神井」が設立した。そして、平成 21 年 7 つ目の区立体育館として中村南スポーツ交流センターが開館し、この開館にあわせて、区立 7 つ目の総合型地域スポーツクラブとなる「豊玉・中村地域スポーツクラブプラッツ」を設立した。

4. 主な結果と考察

調査から、クラブ入会前後では過半数の割合でいい傾向へ心身ともに変化したという結果が出た。このことから、クラブに入会し、スポーツをする機会が増えることで運動不足が解消され体調が良くなる、また大人数で行うため普段かかわることのない人とも接する機会が増え、交友範囲が広がり、更に人と話す機会や友達も増えるため生活の充実感増加に繋がってくるという好循環が生まれるのではないかと考えられる。また、入会前後で変化が表れている会員は満足度が高いという傾向もある。よって、変化がまだ表れていない方には「活動拠点を増やす」、「指導者のレベルを上げる」など他者ができることで満足度を上げていく必要があると考える。

5. 結論

本研究では、コミュニティネット SSC 大泉クラブに入会している方を対象として、現在の活動の満足度や入会前後の変化を調査し、総合型地域スポーツクラブの設立効果と今後の課題は何か検討した。自分や子どもが入会前後で変化を感じている人は満足度が高い傾向にある。技術や身体的な変化について、他者が手を貸して満足度を上げることは難しいかもしれないが、拠点施設や指導者に関しては満足度をさらに上げていくことは可能である。また、「連絡・広報」についての満足度平均値が低いことから、広報をもっとしていく必要がある。新たな入会者を増やすためにも総合型地域スポーツクラブとは何かどんな活動をしているのか広めていくことが今後の課題となってくる。

また、総合型地域スポーツクラブの入会者を増加するためには、主に2つの方法が考えられる。1つ目は現在の入会者にこのまま継続して入会してもらうことであり、2つ目は新たな入会者を増やすことである。しかしながら、本研究では、現在コミュニティネット SSC 大泉に入会している方を対象としたため、1つ目の継続してもらうための方法については分析・検討が行えたものの、非入会者にはどうしたら入会してもらえるか明らかにすることは困難であった。新たな入会者を増やすためには、非入会者の総合型地域スポーツクラブに対する印象や認知度を調査する必要があると考えられる。今回の調査で総合型地域スポーツクラブに入会することで、「体調が良くなった」、「交友関係が広がった」などその人自身に良い効果が表れているということが明らかになったため、今後は現在の入会者や非入会者へアプローチを強化し、総合型地域スポーツクラブの設立効果を広めていくことが有効であるのではないかと考えられる。

6. 卒業論文の執筆を終えて

本研究を行うにあたり、非常に多くの方々のご協力をいただきました。ここに感謝の意を表します。アンケート調査を依頼したコミュニティネット SSC 大泉の茨田会長、そして運営スタッフの皆様は、急なお願いにも対応してくださり、たくさんお話をしてくださったり、ボランティア活動も参加させてくださったり、総合型地域スポーツクラブについて多くのことを学ぶことができました。深く感謝いたします。そして、指導教員としてテーマ決めから卒論完成まで熱心にご指導してくださった黒須先生には、大変お世話になりました。黒須先生の優しい一面や、時には厳しく指導してくださる一面があったからこそ最後まで黒須先生のもとで卒論研究を終えることができました。この2年間、迷惑をかけることも多々あったかと思いますが、最後までご指導を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。